

神石高原町立神石高原中学校第3学年 学級活動学習指導案

題材名：「後輩へ贈る 神石高原中学校生徒の伝統」

指導者：池田 美由紀

- 1 日時 平成28年11月16日（水）4校時
- 2 学年 第3学年A組 37名（男子18名、女子19名）
- 3 場所 2階 3年A組教室
- 4 題材 「後輩へ贈る 神石高原中学校生徒の伝統」
学級活動（2）ウ 社会の一員としての自覚と責任
- 5 題材について

（1）生徒の実態

本校は、2年前に神石高原町内の神石・油木・豊松の3中学校が統合してできた新設校であり、本学級の生徒は、2年前に統合された本校の初めての入学生である。統合から3年目を迎えた今年度、最高学年となった自分たちが学校の伝統を創り上げたいという思いを共有している。6月に行われた本校最大の行事である体育大会においても「伝統を創る」を合い言葉にリーダーシップを発揮するなど、これまでの文化祭や体育大会後の満足度を問うアンケートでは肯定的回答がほぼ100%である。

また、4月に行われた全国学力学習状況調査では、国語・数学ともに県平均・全国平均を上回り、特に国語Bでは全国平均を18ポイント上回っている。これは中学校生活のみで付けた力ではない。基礎学力をつけて入学してきた生徒が、新設校の一年生であるという自覚を持って真面目に努力を続けた結果である。日頃のテストでも、空欄は非常に少ない。

一方で、そのような力を日常生活に生かすことには課題がある。自分自身のことは真面目に行うが、学級内で互いに注意し合うことや意見を述べることにはためらいがあり、自分たちの目指す姿と現実にギャップを感じている。また、与えられた役割は果たすが、全体を見て今自分が何をしなければならないのかを考えて行動することには課題が見られる。

（2）題材設定の理由

本校校長が開校当時から生徒に示していたのが「新設校の風土は私たちが創る」という生徒の主体性を重んじる姿勢であり、3年目を迎えた今年度は学校の伝統を完成させるという使命がある。主体的に学び、仲間とともに課題解決をめざす高い志をもたせていくという点では、本校における資質・能力の重点項目との関わりも深い。

平成28年度神石高原町立神石高原中学校において育成する資質・能力

【スキル】	①課題発見・解決力 ②思考力・判断力・表現力
【意欲・態度】	③主体性
【価値観・倫理観】	④高い志 ⑤人としての思いやり

この中から、本題材において育成しようとする資質・能力について、次の3点に重点を置くものとする。

【スキル】課題発見・解決力

- ・平成28年度広島県公立高等学校一般学力検査問題や総合的な学習の時間の取組から自分の解決したい課題を発見して、どのように生活することが必要なのかなど解決方法を探す。

【意欲・態度】主体性

- ・自分が考えた課題解決の方法を具体的にどのような行動にするのかを自己決定させることで、主体的な学習とする。

【価値観・倫理観】高い志

- ・自らの未来とともに、学校の未来を考えて将来を見据えることで、よりよい自分の姿やよりよい学校の姿を模索させる。

本題材は、中学校三年生のこの時期に、生徒が自分自身のこれまでの学習や学校生活を振り返り、所属する学級や学校の一員としての責任ある行動について話し合うことで神石高原中学校の伝統と発展を考えることにつながることができる題材である。また、学級活動（3）と関連させながら、中学生に求められる資質・能力について多角的に考えることで、目指すべき姿や具体的な目標を決定し、実践化していくことができる題材である。

(3) 指導改善のポイント

指導に当たっては、次の点を工夫する。

- ① 平成28年度公立高校一般学力検査の問題などを生徒に分析させることで、今求められている学力について考え、教科と教科、教科と日常生活などを関連付けて考えることの大切さを感じ取らせる。
- ② 新聞記事や総合的な学習の時間での学習などから、自分たちが付けなければならない力を考えさせ、卒業後の将来を展望して行動する意欲をもたせていく。

6 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

○自分自身の日常を見直し、将来を見据えた目標をもって学校生活を送る資質を向上させる。

(2) 題材の評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学校の集団や自己の生活に関心を持ち、積極的に集団活動や自己の生活の向上に取り組もうとしている。	教科を関連付けたり学習したことを日常生活と関連付けたりすることの大切さを理解して、これからの学校生活に生かしたいと考えている。	進路選択を見据えて、これからの学校生活を充実させるためにどうすればよいのかを話し合い、活動の在り方などについて理解している。

7 展開の過程

(1) 事前指導と生徒の活動

期日	活動の内容	指導上の留意点	評 価				
			関	思	知	評 価 規 準 評価方法	
9月 16日	28年度広島県一般学力検査の問題から、中学生に求められている力はどのようなものかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える時間を確保する。 ・シンキングツール（クラゲチャート）を活用して思考をまとめさせる。 			◎	進路選択を見据えて、これからの学校生活を充実させるためにどうすればよいのかを話し合い、活動の在り方などについて理解している。	行動観察 ワークシート

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の目標

○自分が身に付けたい「生きた学力」について考えることができる。

イ 観点別評価規準

○教科を関連付けたり学習したことを日常生活と関連付けたりすることの大切さを理解して、これからの生活に生かしたいと考えている。【思考・判断・表現】

ウ 準備物

新聞記事・総合的な学習の時間の振り返り・班記録用の紙・ワークシート

エ 展開

	生徒の活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	○評価規準 〔観点〕 (評価方法)
導 入	1 本時の課題把握。 ○ 新聞記事から様々な力を必要とする例を知る。(5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div>	◆ 視覚的にイメージさせるために資料を提示する。 ◇ 総合的な学習の時間で学習した内容と結び付けることができるものを取り上げる。	
	2 本時の目標の確認。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【本時の目標】 身に付けたい「生きた学力」を見付けることができる。</div>	◇ 神石高原中学校3年目の3年生として学ぶ姿勢の風土づくりを意識させる。	

展 開	<p>3 総合的な学習の時間に考えた町の魅力を再発見する取組を思い出し、取り上げた新聞記事の事例を実現させるためにはどのような力が必要なのかを考える。 【個人】（5分）</p> <p>4 グループごとに自分が考えたことを交流する。【小集団】（7分）</p>	<p>◇ あらかじめ、文化祭までの取組を振り返らせておく。</p> <p>◇ 自分の考えをキーワードで書かせてその説明を加えさせる。</p>	<p>・教科を関連付けたり学習したことを日常生活と関連付けたりすることの大切さを理解して、これからの学校生活に生かしたいと考えている。[思考・判断・実践]（行動観察、ワークシート）</p>
	<p>5 班ごとに身に付けたい「生きた学力」を発表し合い、そこで出された意見や考え方を全体へ発表する。（20分） ○ 班で話し合う。 【小集団】 ○ 班で出された意見や考え方を全体へ発表する。（5分）【全体】</p> <p>6 出された意見や考えから、自分がこれから身に付けたい力と、そのために何をするのかを書かせる。【個人】（4分）</p>	<p>◇ 司会者と発表者を決めさせる。</p> <p>◇ 必要に応じてメモをとらせる。</p> <p>◇ 話合いの仕方がよいグループがあれば紹介して話合いの質を高める。</p> <p>◇ 発表時間を知らせて、班ごとに個人で考える時間とグループで話し合う時間を決めさせる。</p> <p>◇ どの順番に並べるのかにも気を付けさせる。（例えば「重要なものから順に並べる」など）</p> <p>◇ 聞いている生徒にメモを取らせる。</p> <p>◇ 司会者には各班の内容を比較しながら進行させる。記録係は構造的板書を心がけさせる。</p> <p>◇ 他のグループの考えと自分のグループの考えを比較しながら聞かせる。</p>	
ま と め	<p>7 本時のまとめ（4分）</p>		
	<p>(生徒のまとめ例)</p> <p>・私のキーワードは「関連付け」です。それぞれの教科の勉強を関連付けて考えるようになりたいと思います。</p>		
	<p>8 本時の振り返りを行い、次時につなげる。 ○「なるほどノート」の記入 ○次時の予告</p>	<p>◇ 生徒を数名指名して紹介する。</p>	<p>主体的な学び</p>

(3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の内容	指導上の留意点	評 価				
			関	思	知	評 価 規 準	評価方法
12月5日	「神石高原中学校グランドルール」を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と課題を振り返らせておく。 キーワードを絞って考えさせる。 	◎			学校の集団や自己の生活に関心をもち、積極的に集団活動や自己の生活の向上に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート